

## 「2022年度 アメリカ・シリコンバレーインターンシッププログラム」実施要項

2022年度アメリカ・シリコンバレーインターンシッププログラムの参加者を以下の通り、募集します。

### 1. 趣 旨

- ・シリコンバレーのエンジニアとの交流を通して、現地エンジニア達の気質とメイカー精神に触れ、起業する気概を養う。
- ・AIに関する最新の機器を用いた開発する力をつけ、現地企業のエンジニアへ成果発表することを通し、世界で技術を発信していく態度を培う。
- ・現地コンテストへの参加を通して、世界の技術者たちと伍する力をつける。

### 2. 実施期間

- (1) 国内事前研修： 2022年8月17日(水)～8月26日(金)
- (2) 現地研修： 2022年9月1日(木)～9月14日(水)
- (3) 国内事後研修： 2022年11月24日(木)～2022年11月30日(水) (成果発表会を含む)  
2022年12月10日(土) (仮) GUGEN コンテスト本選

### 3. 実施場所・実施方法

- (1) 国内事前研修：学内 (研修業務委託)
- (2) 現地研修：会津大学シリコンバレーオフィス (シリコンバレーに派遣)
- (3) 国内事後研修：主に学内、東京 (開発成果発表指導、成果発表会実施、GUGEN コンテストで最終選考に残った学生は東京会場でのプレゼンに任意参加)

※ 原則として派遣を前提にプログラムを実施する。2022年4月20日現在、北アメリカに関する外務省の感染症危険レベルが2となっており、COVID-19に関するワクチン接種を条件に国際的な往来も再開しているため。状況によっては代替プログラム実施をする。

### 4. 募集人数

4名

(学部生は「課外活動コース II<インターンシップ III(シリコンバレーA)>」を履修するものとする。)

### 5. 研修内容

学生は本学のシリコンバレーオフィス(ハッカー道場)に滞在、IoT デバイスを用いた開発等を行い、そこに集まる多くの技術者や研究者の前で作品に関する発表会を行う。また、地元の大学などの教育機関や ICT 関連の世界的有名企業・各種施設やスタートアップへの訪問等も行う。

- (1) 国内事前研修 (会津大学)  
Jetson Nano 講習
- (2) 海外研修 (米国シリコンバレー)

- ①開発研修(Hacker Dojo)
  - ②現地大学・企業等訪問
  - ③開発内容の発表（現地施設にて）
  - ④GUGEN コンテストへの Web からの応募（必須）
- (3) 国内事後研修
- GUGEN コンテストでのプレゼン（任意）
  - 学内成果報告会

## 6. スケジュール

- (1) 応募期間：2022年5月17日（火）～6月6日（月）
- (2) 説明会：2022年5月25日（水）17:00-17:40
- (3) 書類選考：2022年6月8日（水）
- (4) 面接選考：2022年6月15日（水）
- (5) 合格通知：2022年6月21日（火）
- (6) 誓約書提出：2022年6月28日（火）
- (7) 危機管理講習：2022年7月20日（水）
- (8) 国内事前研修：2022年8月17日(水)～8月26日（金）
- (9) 海外研修：2022年9月1日(木)～9月14日（水）
- (10) 国内事後研修：2022年11月24日（木）～2022年11月30日（水）（成果発表）
- (11) GUGEN コンテスト本選：2022年12月10日（土）（仮）

## 7. 参加資格及び要件

- (1) 学部または博士前期課程に在学中であること。留学生も可（合格者がアメリカ大使館の面接や ESTA 申請の結果、ビザまたは ESTA が取得できなかった場合、参加資格を取り消す）
- (2) 国内事前・事後研修および海外研修のすべての日程に参加可能なこと。
- (3) 心身ともに健康であり、派遣先における学業・生活に支障がないこと。
- (4) 現地における発表に参加することができること。
- (5) 滞在先（宿泊施設）が相部屋であることに承諾できること。（同性同士の相部屋）
- (6) 創業系の授業の履修または、活動の参加経験があることが望ましい。（例：IT 日新館基本コース、ベンチャー工房、ICT グローバルベンチャー工房、ハッカソン、アイデアソン等）
- (7) 帰国後、以下の義務について同意できること。
  - ①研修報告書の提出すること。
  - ②本事業の研修内容向上のため、研修に関する調査・アンケートなどについて依頼があった場合、指定された期日を厳守し回答すること。
  - ③GUGEN コンテストへの応募
  - ④求めに応じ、学内外において研修・開発成果や交流活動等の成果を発表すること。
- (8) 2022年8月17日までに、コロナワクチンを3回以上接種していること。（渡航3週間前までに3回目の接種が確認できなかった場合は参加資格を取り消す。）
- (9) 予期せず宿泊（延泊等）になった場合でも自己負担で宿泊できること。

- (10) 濃厚接触者となり PCR 検査することになった場合でも自己負担して受けることができること。(他者の事情により濃厚接触者となった場合も含む。)

#### 8. 事業の変更、中止および学生派遣の取り消し、助成金の返納について

本事業の期間中に次のいずれかに該当する事態が生じたときは、採用決定の取り消しまたは研修の中止を行うことがある。この場合、大学は学生に対して支援額の全部又は一部の返納を求める場合がある。

- (1) 申請事項に虚偽が発見されたとき
- (2) 本学または派遣先において、懲戒処分等を受けたとき
- (3) 本学を退学したとき
- (4) 安全確保の困難などやむを得ない事情により本学が研修中止と判断したとき
- (5) 自身の都合で採用を辞退する場合、辞退手続きに係る諸費用、支払済の費用は原則自己負担とする。
- (6) 現地での授業、プログラム、及びイベント等に正当な理由なく欠席したとき
- (7) 日本国籍の保持者は ESTA または米国ビザ、日本国籍の保持者以外は米国ビザが取得できなかったとき
- (8) コロナウィルス感染拡大防止のため、以下を定める。
  - (a) 本学での事前研修の実施、GUGEN コンテストへの参加について、次のいずれかの状況の場合、実施・参加方法をオンラインに変更する。(海外渡航については変更無し)
    - ① 会津若松市が、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置の対象地区となった場合
    - ② 参加学生のうち3名以上が発熱・せき等により欠席となった場合
    - ③ その他、本学が事前研修をオンラインで実施する必要があると判断したとき。
  - (b) 現地研修派遣前において、次のいずれかの状況になった場合、現地プログラムを大学として中止し、代替プログラムに変更する。(8月27日まで)
    - ① アメリカ(カリフォルニア州)の感染症危険情報レベルが3以上になった場合。
    - ② アメリカ(カリフォルニア州)の危険情報レベルが2以上になった場合。
    - ③ 会津大学シリコンバレーオフィスを閉鎖するに至った場合。
    - ④ その他、本学が現地派遣を中止する必要があると判断したとき。
      - i. 8月28日～9月1日までに起こった場合は、現地プログラムを中止とし、代替プログラムは9月3日からの実施とする。
  - (c) 現地9月1日(入国日)～9月13日(出国日)の期間中に次のいずれかの状態になった場合、プログラムを一時中断、指示があるまでホテル内で待機とする。(ホテル内にてオンラインで作業継続は可能。下記基準を下回った場合は再開とする)
    - ① 参加学生及び関係者のうち2名以上が高熱・せき等によりPCR検査を受け、いずれも結果待ちの場合
    - ② 参加学生及び関係者の中で陽性者が出た場合。(全員陰性が確認されるまで待機)
    - ③ 会津大学シリコンバレーオフィスを閉鎖するに至った場合。
    - ④ その他、本学が現地活動を中断する必要があると判断したとき。
  - (d) 現地9月1日(入国日)～9月13日(出国日)の期間中に次のいずれかの状態になった

場合、プログラムを原則中止、指示があるまでホテル内で待機し、帰国に向けた手続きを開始する。(学生は JCSOS に連絡をとる)

- ① アメリカ (カリフォルニア州) の感染症危険情報レベル 3 以上になった場合。
  - ② アメリカ (カリフォルニア州) の危険情報レベルが 2 以上になった場合。
  - ③ その他、本学が現地活動を中止する必要があると判断したとき。
- (e) 現地派遣中、次のいずれかの状況になった場合、事態が改善するまで延泊するものとする。(延泊に係る費用は参加学生が全て負担し、必要に応じて学研災の賠償の手続きをすること) (学生は JCSOS に連絡をとる)
- ① 航空機材等の事故や空港閉鎖等により帰国する予定の便に搭乗できなかった場合
  - ② アメリカ当局の指示等により外出や移動ができなくなった場合
  - ③ 病気の他、濃厚接触者等になり帰国ができなくなった場合
  - ④ その他、本学が現地での待機を要請した場合

※ 上記 (b)～(e) の場合、大学が当該学生に支援する当初の額 (合格通知時に示した額) の範囲で、キャンセルに係る費用も助成する。

## 9. 活動の変更に関する基準

### (1) 渡航前の活動の制限

参加学生は次の事項を遵守する。

- ① 事前研修終了後、渡航日当日までは不用不急の外出は避け、に不特定多数が集まる場所にいくことは控える。
- ② 渡航日当日の PCR 検査の結果を学生は引率者に速やかに連絡する。陽性である場合は、当日の飛行機をキャンセルし、自費で療養のためのホテルを確保、その後、引率教員に連絡し、そのホテルに移動する。

### (2) 渡航後の活動制限に対する基準

ホテルはツインルームであることから、参加学生は下記左欄に該当する場合、該当することが無くなるまで右欄の対応に従う。(①②以外の場合、学生は JCSOS と連絡をとる)

ここで、発熱とは 37.5 度～37.9 度を指し、高熱とは 38 度以上を指す。

	該当する事項	対応
①	自身が発熱	活動を中断、症状がなくなるまで自室で常時マスクをして過ごす。
②	同室者が発熱	同室者の症状が良くなるまでの間、室内では常時マスク及びこまめに手指消毒を行う。
③	自身が高熱	症状が出た場合は速やかに引率教員に報告し、直ちに JCSOS と連絡をとり、PCR 検査を受ける。(自己負担) 同室者に症状が無い場合、別室を確保し移動する。(改善するまで自己が負担) (他に陽性が確定した者がいる場合、その者と同室でも良い。) 症状無くなるまで 1 日 3 回以上連絡をとる。

④	同室者が高熱	JCSOS と連絡をとり、濃厚接触者として PCR 検査を受ける（自己負担）
⑤	PCR 検査の結果、陽性で入院しない場合	引率教員に報告し、JCSOS と連絡をとる。確保した別室で待機。（他に陽性になった者がいる場合はその者と同室でも良い。）症状無くなるまで1日3回以上連絡をとる。
⑥	PCR 検査の結果、陽性で入院する場合	直ちに引率教員に報告し、JCSOS と連絡をとる。
⑦	出国前 PCR 検査で陽性となった場合	直ちに引率教員に報告し、JCSOS と連絡をとる。
⑧	その他特別なことが発生した場合	大学からの指示に従う。

### (3) 帰国後の活動の制限

「水際対策強化に係る新たな措置（27）」Q&A（2022年4月21日（木）時点）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000907573.pdf>

・日本入国時の検疫の検査の結果、陽性であった場合、検疫所の宿泊施設に移動。（7泊8日宿泊施設に待機、無料）

#### 10. 緊急時の医療機関

- ・エル・カミノ病院

<https://www.elcaminohealth.org/>

2500 Grant Rd, Mountain View, CA 94040

+1 650-940-7000

会津大学シリコンバレーオフィス（ハッカー道場、855 Maude Ave, Mountain View, CA 94043）

から車で7分のところにある24時間診察している総合病院。入院設備を備えており、コロナ患者の入院を受け入れている。ベイエリアの中でも有数の病院として知られている。

- ・こばやしクリニック

<http://www.kobayashi-naika.com/>

<https://ja.coronashoumeisho.com/test-certificate-service>

Melchor Pavillion 2490 Hospital Drive, Suite 105 Mountain View CA 94040

+1 650-962-4630

エル・カミノ病院の外来棟 Melchor Pavilion 内にある診療所。エル・カミノ病院と連携をしており、日本人医師が内科を中心に診療にあたっている。海外旅行者保険使用可能。

日本入国のための PCR 検査及び証明書を取り扱っている。帰国時の PCR 検査で利用を予定している。

#### 11 参加学生との連絡手段

参加学生は下記の通りの手段で連絡が取れるようにし、PCR 検査の結果は速やかに引率者に報告

する。

- (1) 会津大学のメールアドレス
- (2) 携帯電話
- (3) Messenger

## 1 2. 支援対象費用

次の(1)～(4)に定める費用について、学生に対し支援を行う。

### 一律一人 40万円

※ 支援対象額を超える金額は、参加者の負担となります。

※ 尚、誓約書回収後（留学生はビザ取得後）、旅行会社に本学から直接支払う。

#### (1) 海外研修の交通費（国内旅費・外国旅費）

・本学の旅費規程により算出した交通費（航空運賃はエコノミークラス）

#### (2) 現地宿泊費

#### (3) 海外旅行保険料

・学生教育研究災害傷害保険（学研災）付帯の海外留学保険（拡充プラン）に加入必須。（加入手続きは大学の指示のもと行うこと）

#### (4) PCR 検査料

※パスポート申請費用、ESTA 及びビザ申請費用、Hacker Dojo 利用料、J-TAS(JCSOS トータルアシスタンスサービス)、食費、一般公募イベントへの参加料及びその交通費などは自己負担とする。

※ESTA とは、米国に短期商用・観光等の 90 日以内の滞在目的で旅行する場合、査証（ビザ）は免除されているが、米国行きの航空機や船に搭乗する前にオンラインで受ける渡航認証のこと。

## 1 3. 旅行に係る費用（予定額、概算）

学生	合計	418,150 円～558,150 円程度
	国内移動費	23,000 円
	海外移動費	160,000 円～300,000 円
	宿泊費(現地)	102,000 円（食事無し）
	前泊(8/31)	10,000 円（9/1 午前中に PCR 検査、午後チェックイン）
	PCR 検査(9/1)	23,000 円
	保険料	5,310 円（15 日分）
	J-TAS	2,300 円
	PCR 検査(現地)	46,000 円（350 ドル）
ハッカー道場利用料		16,640 円（128 ドル）
	ESTA	1,900 円（14 ドル）
	GUGEN 参加	28,000 円（概算、若松⇄東京都 23 区内、1 泊）

※ その他、パスポート申請料等がかかります。

## 1 4. 申請方法

本事業に応募する学生は、スーパーグローバル大学推進室（研究棟 1 階 123 号室）に次の応募書類を提出すること。（提出期限は、2022 年 6 月 6 日（月））

【申請書類】

- ・ 申請書一式（スーパーグローバル大学推進室にて配布）
- ・ 成績証明書
- ・ ハッカソン、アイデアソン等などの表彰状の写し（該当する場合）

1 5. 選考及び結果通知

選考及び結果通知は次により行う。

- (1) 申請書類及び成績証明書を参考に一次選考（書類審査）を行う。
- (2) 一次選考結果を申請者に通知する。
- (3) 一次選考合格者に対し二次選考（面接、英語）を行う。
- (4) 二次選考結果を通知する。（採用者、補欠者の内定）

1 6. 問い合わせ先

会津大学 グローバル推進本部 スーパーグローバル大学推進室

オフィス：研究棟 1 階 123 号室

E-mail: sgu-adm@u-aizu.ac.jp

Tel : 0242-37-2701 Fax : 0242-37-2766